

拠出金名：国際獣疫事務局拠出金

国際機関等名	国際獣疫事務局 (英文名称・略称) World Organization for Animal Health (OIE)					
種 別	国連(事務局) 国連(基金・計画) 国連専門機関 <u>その他</u>					
所轄官庁担当課名	農林水産省大臣官房国際部国際政策課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注1)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千ユーロ)	レ ー ト		
平成18年度	128,035	978	143	1 \$ =111 円 1ユーロ=136円	(2006年) 100	69.5
平成17年度	943,226	8,633	143	1 \$ =107 円 1ユーロ=136円	(2005年) 100	95.9
平成16年度	72,126	489	143	1 \$ =110 円 1ユーロ=128円	(2004年) 100	48.5
拠出上位5ヶ国(注2)						
	国 名	金額 (千ドル)	率(%)	国際機関等の財政 (2006年度決算)		
1位	日本	1,153	100	当該年度の収入 2,201,581ドル		
2位				当該年度の支出 597,560ドル		
3位				次年度への繰越 1,604,021ドル		
4位				会計検査機関名		
5位				Marie-Pierre Codier		
上記の率及び順位は2006年のもの						
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
OIEは、動物の伝染性疾病及び防疫に関する唯一の国際機関として、各国の疾病発生情報の収集流布、動物検疫に関する国際基準の策定、新しい診断法の国際標準化などについて活発に活動しており、我が国の動物検疫及び家畜防疫の諸施策を実施するための科学・技術バックボーンとして大きく貢献している。また、WTO体制化において、OIEは家畜衛生の国際基準を策定する機関として明確に位置付けられており、加盟国はその国際基準を基本とした措置が求められていることから、OIEの役割は一層重要である。このような中で、我が国はOIE最大の拠出国として、一定の発言力を確保している。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
OIEは、数年毎に活動計画を定め、当該活動計画に従って活動している。近年においては、国際基準策定の強化、情報収集、提供活動の強化が行なわれている。我が国としても、これらの活動強化は重要であると考えている。						

邦人職員数 うち幹部以上	5人 うち 4人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率	60人 8. 3%
邦人職員が占めている幹部ポスト			
ポストの名称	職 員 氏 名	備 考	
国際貿易部特別補佐	石橋朋子	OIE本部(パリ)勤務	
アジア太平洋地域代表	藤田陽偉	OIEアジア太平洋地域事務所勤務	
アジア太平洋地域 上席次席代表	吉村史朗	OIEアジア太平洋地域事務所バンコク支所勤務	
アジア太平洋地域次席代表	桶谷良至	OIEアジア太平洋地域事務所勤務	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画			
OIE本部への派遣については、国際的な家畜衛生に関する情報の迅速な収集、OIE活動への我が国をはじめとするアジア地域の意見の反映、我が国の国際貢献の明示のため非常に重要であり、又、OIEアジア太平洋地域事務所への派遣については、アジア太平洋地域における鳥インフルエンザの防疫、東・東南アジア地域における口蹄疫の防疫、域内での情報交換、BSEのリスク管理及び家畜衛生の向上等を牽引する立場にあり、ひいては我が国への家畜疾病の侵入防止につながることから、今後とも、邦人職員の派遣を継続する予定である。			

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2004年～2006年)。

(注2) OIEには、複数の事業について拠出が行われており、各事業ごとにドナー国が異なるため、拠出率、拠出上位5カ国の記入は不可能。